

## 水前寺江津湖公園利活用・保全計画（素案）に係る パブリックコメントの結果

### 1. 意見募集期間

令和元年（2019年）12月25日～令和2年（2020年）1月24日

### 2. ご意見の提出状況

意見を提出された方の人数     7 名

意見の件数（まとめごと）   43 件

### 3. 提出された意見と、それに対する本市の考え方（詳細は、別紙のとおり）

対応内訳	対応方法	件数
対応1（補足修正）	意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの	19件
対応2（既記載）	既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同種の記載をしているもの	1件
対応3（説明・理解）	市としての考えを説明し、理解いただくもの	8件
対応4（事業参考）	素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事柄として今後の参考とするもの	13件
対応5（その他）	素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの	2件

### 4. 項目ごとの主なご意見

項目	主なご意見
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の名称を「水前寺江津湖公園保全・利活用計画」とすべき。</li> <li>・公園内や周辺の民有地で野生生物や人の休息場となる木陰が減少したり、江津湖らしい景観が損なわれるなどの影響が出ている。</li> </ul>
1. 水前寺江津湖公園の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スイゼンジノリ」と「水前寺のり」の言葉が混在している。</li> <li>・江津湖のバラタナゴ類は、タイリクバラタナゴと交雑している可能性が高いため、希少種に区分できないのではないか。</li> <li>・江津湖で個体数が多い飼育型のコイが生態系に与える影響を明記して、自然水域から排除する方針を示してはいかか。</li> </ul>

項目	主なご意見
2. 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来生物が侵入してかなりの時間が経過し全域に広まっているので、「生物多様性が損なわれてしまった」の方が適切ではないか。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動植物園南門のところに、園側と江津湖側の両方で利用できる、タピオカやソフトクリームなどの店舗を設置してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動植物園内のトイレを、早急に、洋式のきれいなトイレに改装してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセス向上の対応策の一つとして、駐輪場のあり方についても検討してほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湧水の量と質をもとに戻すには、何をおいても浚渫が一番。</li> </ul>
3. 計画の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間活力の導入について、あくまで江津湖の自然環境、生物、景観、歴史へ配慮することを前提に進めてほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゾウさんプール再整備は賛成。親水用の小さな階段や栈橋等を整備すると楽しいし、木陰となる樹木を植えるとくつろげる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランピングの恒久的な施設の整備には賛成できない。子どもたちに一時的なテントで宿泊体験させ、ホタルの飛翔やカエルの合唱を聞かせる等の利用の仕方は賛成。</li> </ul>
4. 事業展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 江津湖アプリの開発にあたり、中身によっては利用頻度や利用者が限定的になる可能性があるので、対応策を考慮すべき。</li> </ul>
5. 資料編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アメリカの公園のように、区画を区切ってバーベキューの利用ができるピットがほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園の開放時間の繰上げをしてほしい。多忙な現代において、駐車場が9時からでは、早朝の健康づくりに寄与していない。</li> </ul>

## 提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
1	全体	<p>計画の名称を「水前寺江津湖公園保全・利活用計画」とすべきだと考える。利活用の前提として、まず江津湖の生物多様性や文化的価値を維持することが必要ではないか。保全なき利活用はあり得ないと思う。</p> <p>このことにより、P33に記載の「保全と利活用の両面から本計画を策定します」及びP39-40に記載の「基本方針①大地が育む豊かな水環境と水循環の保全」「基本方針②生物多様性の保全と自然と人との共存・共生」との整合性もとれるのではないかな。</p> <p>なお、計画名が変更された場合、全体を通して、「利活用・保全」と記載してある部分を「保全・利活用」に変更する必要があることも指摘しておく。</p>	<p>これまで、本計画及び協議会については、「利活用・保全」としてアナウンスをし、その両面から検討を進めて参りました。</p> <p>しかしながら、検討を進めるなかで、いただきましたご意見のように、江津湖が誇る自然環境の保全をベースとしたうえで利活用をすべきとのご意見をいただき、素案としてこのようにまとめたところであります。（P38基本理念、P46ゾーニング等）</p> <p>計画の名称については、これまでの経緯から原案どおりとさせていただきたいと考えていますが、今後も、自然環境の保全を行ったうえで利活用方策の検討を進めて参りたいと考えています。</p>	対応3 【説明・理解】
2	全体	<p>「水前寺江津湖公園」という名称はいかがなものか。つながってはいるが別のものだし、以前救急車を要請した時にも、このことかわからなかったで、誘導に苦労した経験がある。</p>	<p>本公園は、水前寺地区から広木地区まで含めた全体で、都市公園（広域公園）の「水前寺江津湖公園」でありますことから、その名称を使用しています。</p> <p>しかしながら、広範囲にわたりますことから、ホームページなどで周知する際には、「水前寺地区」など、わかりやすい呼称もあわせて使用したいと考えています。</p>	対応3 【説明・理解】
3	全体	<p>出水地区、上江津地区では、公園内や周辺の民有地での樹木伐採が目立ち、ゲンジボタルなどの野生生物や人の休息場となる木陰が減少したり、江津湖らしい景観が損なわれるなどの影響が出ている。</p> <p>伐採は、安全上の理由や民有地について規制できないなどの事情があると思われるが、極力樹木の伐採を抑制し、新たに植樹するなどにより、古い絵はがきに見られるような江津湖の景観の復活と、野生生物の生息環境や人が休息できる木陰の確保などにつなげていただくと、市民にとってよりよい公園になると思う。</p>	<p>水前寺江津湖公園一帯には、豊富な湧水や多くの植物があり、野生生物や人の休息の場となっています。しかしながら、かつてと比較しますと、その自然環境も減少しており、江津湖が誇る自然環境の保全が大きな課題となっています。</p> <p>今後も、自然環境の保全を行うとともに、P38基本理念やP46ゾーニング等にも示していますとおり、かつての環境を取り戻す“再生”も行うことで、生物多様性の保全を行って参りたいと考えています。</p>	対応4 【事業参考】
4	全体	<p>写真については、撮影者の許可をとっているのか。</p>	<p>写真は、当方で撮影したもの、若しくは撮影者の許可をいただいたものを掲載しています。なお、一部の写真はわかりやすいものに変更いたしました。</p>	対応3 【説明・理解】
5	全体	<p>水前寺地区（旧体育館跡地）における各種工事について</p> <p>上記場所では、昨年末から水道設備の更新工事や、ジェーンズ邸の復旧移築に向けた基礎工事が行われているが、現地には工事を知らせる案内板があるものの、インターネット上には全く告知されておらず、水前寺江津湖公園の一部である以上、できれば工事前の段階から知らせた方がよいと思う。</p>	<p>本計画策定後、個別の事業計画を行う段階において、ご意見を参考にさせていただきます。（P56 取組項目⑤-3 情報の発信）</p>	対応4 【事業参考】
6	表紙	<p>「共生」なのか。あるいは、「共存・共生」「共存共生」なのか。</p>	<p>表紙は、P38に示します基本理念をサブタイトルとして記載しており「共生」です。</p> <p>～湧水により育まれてきた自然と人との共生～</p>	対応3 【説明・理解】

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
7	P15,16,2 1,22 1-6 地域 資源	「スイゼンジノリは藍藻類の植物」という表現はあるのか。 他の場所に記載してある「スイゼンジノリ（藍藻）」と表現を統一してはどうか。	ご意見を踏まえ、「スイゼンジノリ（藍藻）」に統一しました。	対応1 【補足修正】
8	P15,16,2 1,22 1-6 地域 資源	「スイゼンジノリ発生地」という言葉使いがあるのか。「生息地」のほうが、違和感がないように思う。	国指定天然記念物として、「スイゼンジノリ発生地」という名称で指定されています。（大正13年指定）今後、広報を行う際には、わかりやすさにも配慮して努めて参りたいと考えています。	対応3 【説明・理解】
9	P15,16,2 1,22 1-6 地域 資源	「発生を見守っている状況」であるということは、現在は「発生していない」状態なのか。	江津湖でスイゼンジノリが見られなくなって久しいですが、平成21年に特別保護区を設けるとともに、その後も水質調査を行っており、「スイゼンジノリ発生地」の保護を継続的にを行っています。	対応2 【既記載】
10	P15,16,2 1,22 1-6 地域 資源	「スイゼンジノリ」と「水前寺のり」の言葉が混在している。任意に使い分けていないのであれば、どちらかに統一すべきと思う。 商品の場合は「水前寺ノリ」だろうか。	文化財としては「スイゼンジノリ」、熊本水遺産やひご野菜としては「水前寺のり」として指定されており、本計画においてはそのように使い分けています。 ご意見を踏まえ、注釈を追記いたします。	対応1 【補足修正】
11	P17 1-6 地域 資源	冒頭に何の説明もなく「環境省改訂版レッドデータブック、環境省レッドリスト2019」「レッドデータブック熊本2009、熊本県の保護上重要な野生動植物リストーレッドリスト2014」とあり、意味がわからない。 参考文献の意味だと思うので、巻末の四角の枠内欄に、まとめて書いた方がわかりやすいと思う。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正いたします。 ＜江津湖に生息・生育する野生生物＞※下記から抜粋 ○環境省改訂版レッドデータブック 環境省レッドリスト2019 ○レッドデータブック熊本2009 熊本県の保護上重要な野生動植物リストーレッドリスト2014	対応1 【補足修正】
12	P17 1-6 地域 資源	何の説明もなく「保護上重要な地域（複合群落）」「江津湖一帯の水湿生植物群落※カテゴリー4（緊急に対策が必要）」がこの場所を書いてある意味がわからない。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正いたします。 ○熊本県保護上重要な野生動植物リストーレッドリスト2014 ※保護上重要な地域（複合群落）として、「江津湖一帯の水湿生植物群落」を位置づけ（カテゴリー4：緊急に対策が必要）	対応1 【補足修正】
13	P17 1-6 地域 資源	「魚類 アブラボテ、カゼトゲタナゴ、カネヒラ、カワアナゴ、カワヒガイ、スナヤツメ、セボシタビラ、ニッポンバラタナゴ、ニホンウナギ、ミナミメダカ、ヤマトシマドジョウ、ヤリタナゴなど」の部分は、これらの魚種が江津湖に生息しているとの意味か。 最近の調査結果からの引用なのか。 外来魚が多数生息しているなかで、特に記載してあるタナゴ類が、まだ生息しているとは思えない。 特に、ニッポンバラタナゴはDNAで鑑定しなければ判別できないはず。	P17は、レッドデータブックやレッドリストに掲載されている種のうち、調査結果から江津湖に生息・生育している野生生物を掲載しています。 しかしながら、ご意見のとおり、ニッポンバラタナゴのDNA鑑定は行っておらず、現段階で確実に生息しているとは言えないことから、こちらの掲載からは削除させていただきます。	対応1 【補足修正】
14	P17 1-6 地域 資源	ニッポンバラタナゴとあるが、江津湖のバラタナゴ類は、タイリクバラタナゴと交雑している可能性が高いため、希少種に区分できないのではないか。	上記同様、こちらの掲載からは削除いたします。	対応1 【補足修正】

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
15	P17 1-6 地域 資源	「スナヤツメ」→「スナヤツメ南方種」 (環境省レッドリスト2019にもそのよう に記載) 「江津湖の魚類相 ～電気ショッカー船 調査での確認を中心に～」の表1も参照して はいかがか。	ご意見のとおり、修正いたします。 なお、本計画作成にあたり、ご意見い だきました文献等も参考にさせていただい ています。	対応1 【補足修正】
16	P17 1-6 地域 資源	セボシタビラは、種の保存法指定種(令 和2年2月10日以降施行)と記載して、後段 で生息環境保全などの対策を明記しては。	P17は、レッドデータブックやレッドリ ストに掲載されている種のうち、調査結果 から江津湖に生息・生育している野生生物 を掲載しています。(令和元年12月現在) 本計画策定後、個別の事業計画を行う段 階において、ご意見を参考にさせていただ きます。(P55 取組項目②-1 自然環境の 保全・再生)	対応4 【事業参考】
17	P17 1-6 地域 資源 P38 3-3 基本 理念・基本 方針	カゼトゲタナゴの写真は、江津湖産の ものを使用してはいかがか。(写真添付)	いただきましたご意見を踏まえ、写真 を変更いたします。	対応1 【補足修正】
18	P18 1-6 地域 資源	ナイルティラピアよりもシルティラピア の方が個体数が多いようだ。(写真添付)	いただきましたご意見を踏まえ、写真 を変更いたします。	対応1 【補足修正】
19	P18 1-6 地域 資源	江津湖で個体数が多い飼育型のコイが生 態系に与える影響を明記して、自然水域か ら排除する方針を示してはいかがか。	本計画策定後、個別の事業計画を行う段 階において、ご意見を参考にさせていただ きます。(P55 取組項目②-2 外来生物の 防除の推進)	対応4 【事業参考】
20	P18 1-6 地域 資源	「図1-19 江津湖に生息する特定外来 魚」→「図1-19 江津湖に生息する特定外 来生物等」又は「江津湖に生息する指定外 来魚等」	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正いた します。 ・図1-19 江津湖に生息する市指定外来魚	対応1 【補足修正】
21	P19 1-6 地域 資源	表1-2のタイトル表記「指定外来種」→ 「指定外来魚」	ご意見のとおり、修正いたします。	対応1 【補足修正】
22	P20 1-6 地域 資源	＜旧有吉邸跡(細川藩家老有吉家別邸 跡)＞について、「神水の天然プールほと り」と書かれているが、公式ホームページ では「じゃぶじゃぶ池」となっている。	ご意見を踏まえ、わかりやすいように以 下のとおり修正いたします。 ・旧有吉邸跡の記念碑(じゃぶじゃぶ池ほ とり)が建っている～	対応1 【補足修正】
23	P26 2-1 水前 寺江津湖公 園の抱える 課題	「生物多様性が損なわれつつあります」 とあるが、外来生物が侵入して、既にかな りの時間が経過し、全域に広まっているの で、「損なわれてしまった」等の表現が適 切なのではないか。	ご意見のとおり、水前寺江津湖公園にお いて、外来生物の繁殖は全域に拡大して おり、その防除が喫緊の課題であります が、一方では、多くの在来生物も生息して います。 引き続き、在来生物の保全と外来生物の 防除を行うことで、生物多様性の保全を 図って参りたいと考えています。	対応3 【説明・理解】

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
24	P27 2-1 水前寺江津湖公園の抱える課題	(6) 動植物園との一体的活用について 道路側には、いくらか喫茶店などの店舗があるが、遊歩道の動植物園側にはない。 南門のところに、園側と江津湖側の両方で利用できる、タピオカ、ソフトクリームなどを飲食できる店舗を設置してほしい。	公園の魅力向上策の一つとして、P-PFIを活用した魅力向上施設の設置（P56）も検討することとしています。 本計画策定後、民間事業者や利用者のニーズを把握し、施設の設置に向けた検討を進めて参りたいと考えています。	対応4 【事業参考】
25	P27 2-1 水前寺江津湖公園の抱える課題	(6) 動植物園との一体的活用について 動植物園内のトイレは、昔の公衆トイレ並みに汚い。快適なトイレに慣れた子どもにとっては、嫌な思い出になりかねない。 ぜひトイレだけでも早急に、洋式のきれいなトイレに改装してほしい。それだけでも、動植物園の印象が随分変わると思う。	動植物園内のトイレは老朽化が進んでいますとともに、ほとんどが和式便器であるため、トイレの改修や洋式化を行っていくこととしています。 ご意見につきましては、所管しています動植物園と情報共有を行います。	対応5 【その他】
26	P27 2-1 水前寺江津湖公園の抱える課題	(7) 公園へのアクセス向上 水前寺江津湖公園全域的に、駐「車」場に対して、駐「輪」場の数が少ない印象を受ける。 アクセス向上の対応策の一つとして、駐「輪」場のあり方についても検討してほしい。	ご意見のとおり、公園へのアクセス向上策の一つとして、駐車場だけでなく、駐輪場についても、検討を行う必要があると考えます。 本計画策定後、個別の事業計画を行う段階において、駐輪場についてもあわせて検討して参りたいと考えています。（P56 施策事業⑤-2-4 駐車場不足への対応）	対応4 【事業参考】
27	P30 2-2 課題の整理	湧水の量と水質を元に戻すには、何をおいても浚渫が一番。かつて、江津湖再生への道を検討した専門家の提言で一番多かったのは浚渫だった。 しかし、実際に行われたのは、外来植物の撤去だけであった。撤去は定期的に行われているようだが、次第に江津湖は浅くなった。 かつての江津湖を取り戻すためには、計画的に浚渫を実施することが、遠回りのように見えても一番確実な方法。湖底からの湧水が復活し、澄み切ったが豊かに流れる江津湖は、何より市民の自慢となるし、そうした河川に外来動植物は侵入しにくい。	水前寺江津湖公園では、かつては藻刈船が浚渫の役割を担っており、昭和40年代からは、上江津や下江津において浚渫が行われてきました。浚渫を行うことで、江津湖の湧水や生物の保全を行ってきましたが、一方で、流速の減少による土砂の堆積や二枚貝の除去などの影響も生じています。 前回行いました浚渫から20年以上が経過し、浚渫の必要性は認識しています。本計画策定後、過去の浚渫の効果や影響を分析したうえで、検討を進めて参りたいと考えています。	対応4 【事業参考】
28	P34 3-1 計画の概要	図3-1 計画の対象区域では、砂取橋が2箇所あるが合っているのか。	どちらも「砂取橋」ではありますが、ご意見を踏まえ、以下のとおり追記いたします。 ・砂取橋（ <u>県道</u> ） ・砂取橋（ <u>市道</u> ）	対応1 【補足修正】
29	P36 3-2 計画の位置づけ	P38と比較した時に、「図〇」が図の下に抜けていないか。	ご意見を踏まえ、キャプションを追記いたします。 ・図3-3 計画の位置づけ ※以下、通し番号を修正しました。	対応1 【補足修正】
30	P38,39,40 3-3 基本理念・基本方針	「共存・共生」と「共存共生」が混在している。	ご意見を踏まえ、「共存・共生」に統一いたします。	対応1 【補足修正】

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
31	P40 3-3 基本 理念・基本 方針	写真で何を表現したいのか、意味がわからない。例えば、「キタミソウ」が在来種なのか、外来種なのか。	ご意見を踏まえ、以下のとおり追記いたします。 ・キタミソウ（在来生物） ・カヤネズミ（在来生物）	対応1 【補足修正】
32	P44 3-3 基本 理念・基本 方針	「民間活力を発揮、引き出しやすい環境を整備し、民間との連携の加速による公園の魅力向上を図ります」については、あくまで江津湖の自然環境、生物、景観、歴史へ配慮することを前提に、市がチェックするなどの段階を踏んで進めて欲しい。	水前寺江津湖公園のポテンシャルは「恵まれた自然環境」であります。本計画では、自然環境を活かした事業展開を行う（P55）こととしており、ゾーニングでも、公園全域を「保全エリア」と設定（P46）しています。 本計画策定後、個別の事業計画を行う段階において、自然環境や歴史等に配慮しながら、公園の魅力向上を図って参りたいと考えています。（P56 取組項目⑥-2 民間活力の導入）	対応4 【事業参考】
33	P46 3-4 ゾー ニング	上江津地区や広木地区の利活用エリアで、方針が書かれていないところがある。	P46のゾーニングでは、①保全エリア、②利活用エリア、③再生エリアを設定したものであり、これに基づき、保全と利活用を行うこととしています。 ③再生エリアについては、主な対象を記載していますが、①保全エリアと②利活用エリアは場所のみを位置づけ、方針については、本計画策定後、個別に検討を進めて参りたいと考えています。	対応3 【説明・理解】
34	P47-52 3-5 地区 別の方針と 主要事業イ メージ	「実施者」の記載の順番に意味があると思うが、何も書いていないのでわからない。	ご意見を踏まえ、説明文を追記いたします。 ・※＜実施者＞は、主たる実施者から順に記載しています。	対応1 【補足修正】
35	P49 3-5 地区 別の方針と 主要事業イ メージ	ソウさんプールの再整備は賛成です。親水用の小さな階段や桟橋などを整備すると楽しいし、木陰となる樹木を植えると親御さんもくつろげる。	ソウさんプールは、かつて多くの子どもたちの遊び場として利用されていましたが、最近では藻やゴミの堆積などにより、あまり利用されていません。今回、ソウさんプールの再整備や継続的な清掃を行うことで、かつての賑わいを取り戻したいと考えています。 本計画策定後、再整備の手法を検討する際には、ご意見を参考にさせていただきます。	対応4 【事業参考】
36	P51 3-5 地区 別の方針と 主要事業イ メージ	なぜ江津湖でグランピングに取り組む必要があるのか理解できない。グランピングの恒久的な施設の整備には賛成できない。 例えば、子どもたちに一時的なテントで宿泊を体験させ、ホテルの飛翔やカエルの合唱を聞かせる等の利用の仕方は賛成ですが、グランピングのように、江津湖の自然の中に快適な半自然、半人工空間を作って優雅に宿泊するような利用方法は合わないと思う。 夜間に散歩する人も多い江津湖では、グランピング施設の整備により、スペース的に散歩しにくくなるのではないかな。	水前寺江津湖公園が誇る豊かな自然環境を多くの方に知っていただき、今後もその貴重な財産を継承していくために、自然環境を活かした新たな遊び場づくりを行いたいと考えています。 その一つとして、グランピングも想定していますが、恒久的な施設を設置するのではなく、仮設でイベント的に行うことで、江津湖のよさを知っていただき、自然に親しみ、将来の担い手の育成につなげていきたいと考えています。 今後も、江津湖の自然環境を保全することを第一に考え、それを活かした利活用策の検討を進めて参りたいと考えています。	対応4 【事業参考】

No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
37	P55 4-1 事業 展開スケ ジュール	表の上に「表〇」が抜けていないか。	ご意見を踏まえ、キャプションを追記いたします。 ・表4-1 事業展開スケジュール（自然環境・歴史文化資源の保全）	対応1 【補足修正】
38	P55 4-1 事業 展開スケ ジュール	④-1-1 情報発信の場づくり（情報の集積） 本計画と同じ時期にパブリックコメントを実施している「熊本市動植物園マスタープラン（素案）」に記載されている『「（仮称）水辺のインフォメーションセンター」の設置』のスケジュールと異なるようだが、本計画においては、設置後の運用について触れているものなのか。	本計画においては、情報発信の場づくりだけでなく、ご意見にあります設置後の運用についても記載しています。 現段階で、スケジュールを一部修正をさせていただいたうえで、引き続き、動植物園とも連携を図りながら、進めて参りたいと考えています。 なお、P57にも記載のとおり、取組項目や事業展開スケジュールなどについては、本計画策定後も、適宜検証や見直しを行うこととしています。	対応1 【補足修正】
39	P56 4-1 事業 展開スケ ジュール	⑤-3-2 江津湖アプリの開発 アプリケーションの具体的な中身等はまだ想定されていないと思われるが、アプリケーションとなると、中身によっては利用頻度や利用者が限定的になってしまう可能性があり、開発するとすれば、その辺の対応策を考慮しておいた方がよいと思う。 まずは、既に情報が集積されている指定管理者が運営するホームページ・SNSの認知・魅力向上に努めた方がよいと思う。 また、公園情報を発信するアプリケーションとして、多くの自治体で利用されている「PARKFUL（パークフル）」というものがあり、活用を検討される価値はあると思う。	本計画策定後、個別の事業計画を行う段階において、ご意見を参考にさせていただきます。（P56 施策事業⑤-3-2 江津湖アプリの開発）	対応4 【事業参考】
40	P56 4-1 事業 展開スケ ジュール	⑥-2-1 P-PFIを活用した魅力向上施設の設置 本計画と同じ時期にパブリックコメントを実施している「熊本市動植物園マスタープラン（素案）」に記載されている「江津湖畔を活かしたカフェやレストランを中心とした複合施設の導入」のスケジュールと異なるようですが、本計画においては、設置場所や設置施設の種類のこだわらず、水前寺江津湖公園全域での設置検討を意味しているのか。	本計画においては、動植物園だけでなく、当公園全体での検討を行うこととしています。 設置については、引き続き、動植物園とも連携を図りながら、進めて参りたいと考えています。	対応3 【説明・理解】
41	P59,60 5-1 検討 体制	会議（協議会・部会）の議事録が、一部の回では既に公開されているが、公開できるようになるまで時間を要しているようなので、本計画の策定過程を市民に知らせるという意味で、議事の要旨だけでも先行的に公開しておいた方がよいのではないか。	これまでの会議（協議会・部会）の議事録の公開が遅れており申し訳ありません。遅れましたが、すでに公開させていただきました。 今後は、会議終了後、速やかに公開することといたします。	対応5 【その他】



No.	項目	ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
42	P61 5-2 課題 の整理	<p>利用者の権利と義務を明白にした上で、アメリカの公園のように区画を区切ってバーベキューの利用ができるピットが欲しい。</p> <p>庭付きの家に住む人以外にもそういう楽しみがあっても良いと思うし、これからの地域住民にとって、コミュニケーションの一助にもなると思う。</p>	<p>本計画では、自然環境への影響、音、臭いなどの周辺地域への影響を考慮しまして、バーベキューは利用できないこととしています。</p> <p>しかしながら、バーベキュー利用のご意見も様々いただいていることもあり、ご意見は今後の参考にさせていただきます。</p>	対応4 【事業参考】
43	P63 5-2 課題 の整理	<p>施設運営についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園開放時間の繰上げをしてほしい</li> <li>・駐車場開放時間が利用ニーズ（9時前開放、夕方開放時間の延長）に合っていない</li> </ul> <p>上記の意見に全く同感である。</p> <p>特に、多忙な現代において、駐車場が朝9時からの利用では、早朝市民の健康づくりに全く寄与していない。</p> <p>先ず始めに、楽な管理に立脚した発想を、根本的に改める必要があると思われる。</p>	<p>本計画策定後、個別の事業計画を行う段階において、ご意見を参考にさせていただくとともに、利用者ニーズを把握しながら、検討を進めて参りたいと考えています。</p>	対応4 【事業参考】